



GSP JOURNAL



11月19日、“ホンモノ”を追求するGSPに「南極」がやってきました。

学びの先にあるもの

「何のために学ぶのか」という悩み、問いを抱える高校生はたくさんいると思います。そんな問いに対する一つの答えが、今回のGSPで示されました。「極地の氷に何が起きているか」の講師を務めてくれた方は青年海外協力隊、スイス連邦工科大学でのキャリアを経て、現在は北海道大学で教授を務めていらっしゃる先生でした。この講座では本物の「南極の氷」が用意され、生徒はそれに感動しながら講師の語る「学びの先にあるもの」に対して耳を傾けていました。それが生徒へと伝わったのか、受講生の感想には「地球の未来について考えることが出来て、とても有意義な時間になった」というものもありました。

大学合格を勝ち取るために勉強するというところに、異論はありません。しかし、大学合格がゴールではないということは強く訴えなければならないことです。生徒の皆さんには、ぜひ自分が学んだ先に何があるのかということを、今のうちから少しでも意識してほしいと思います。その「学びの目的」があれば、受験勉強は未来を手に入れるための充実した取り組みとなることでしょう。



講座No.74 極地の氷に何が起きているか



講座No.58 アロマクラフトをつくってみよう（左）



講座No.73 VRゴーグルで体験する建設作業現場（右）



GSPで生徒が変わり、未来が変わる

【GSPを受講した感想】

◆オイルマッサージによって、体の不調だけでなく心理的な不調の治療にも役に立つことがすごいと思いました。もともと、セラピストやエステティシヤンの仕事に少し興味がありましたが、この講座を通してより興味が湧きました。（癒し×スッキリ脚 アロマの手技で学ぶセルフケア）



講座No.71 癒し×スッキリ脚 アロマの手技で学ぶセルフケア

◆エネルギーミックスについてのグラフを自分で考えてみる時間があって、意識が高まりました。（「エネルギーミックス」について語り合おう）



講座No.55 「エネルギーミックス」について語り合おう

◆肩揉みの仕方を詳しく教えてもらったので、今後活用していきたいです。肩揉みをしてもらう人も肩揉みをする人も、いい気持ちになるので良いことだと思います。（絶賛される肩もみのやり方）



講座No.59 絶賛される肩もみのやり方

◆災害支援や訪問看護など、看護師の仕事は病院内だけではないことを知りました。講義をしてくれた人の患者さんとのエピソードがとても感動的でした。また、医療ドラマでは「コウノドリ」が一番現実に近いみたいなので見てみたいと思いました。（看護の出前授業）

◆地震体験だけでなく消防署の見学もすることができた。最近は女性の消防士もいて、そのためにしっかりと部屋などが分かれていることを知った。また、消防車にも三種類あることや消火器の使い方を教わったりした。地震体験車で震度7の揺れを経験したが、揺れが本当に強く家具は固定していないと簡単に倒れそうなほどだったので、万が一に備えて家族と話したいと思った。（地震体験車で学ぶ「防災」の心得）